

総務文教常任委員会
所管事務調査資料
(令和 7 年 8 月 20 日)

(事務調査)

- ① 机上訓練HUG (H i n a n j o U n e i G a m e)
避難所運営の体験

総務課情報防災グループ

1 避難所運営ゲーム HUG（ハグ）について

平成19年に静岡県が作成。Hinanjo Unei Game の略。避難者の年齢、性別、国籍やそれぞれが抱える事情を書かれたカードを、避難所に見立てた平面図にどれだけ配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを疑似体験する教材。

2 HUGを実施する目的と意義

参加者は避難所運営チームとして、避難所で起こる様々な出来事に対応することでHUGを通して避難所運営を疑似体験し、そこから得た気づきを将来の災害の備えとして生かすことを目的とする。その場に集まっている人々と協力し、最善の解決方法を見出していくことでコミュニケーションの訓練になるとともに、ふだんの備え、話し合いによって解決できそうな事柄を見つけ、家庭や学校、職場、地域の防災に生かすことも期待される。

3 厚真町版HUG作成に至る経緯

平成26年 9月～10月

町内在住の北海道地域防災マスター向け研修及び厚真町民防災講座で静岡版HUGを実施。→地域密着の教材の必要性を認識。

平成27年 2月～平成28年2月

厚真町版HUGに向けて検討会を設置。全8回の開催を通じて内容を検討。厚真町で起こり得る事態を想定した内容にするとともに、厚真町に縁のあるものの名前を使用するなどして、親しみのある内容・デザインで作成。

平成28年 4月

厚真町版HUGとして静岡県から許諾を得る。

4 静岡版と厚真町版の違い

主な内容	静岡版	厚真町版
災害状況	記載なし（直下型地震）	冬季の直下型地震
時期区分	なし（後になるほど大変な状況に）	カード番号180番から地震発生3日後
物資情報	特に由来なし	町の備蓄情報に準拠
図面	一般的な学校	町内の指定避難所（8ヵ所）
カード枚数	250枚	200枚
カードの種類	①避難所カード ②イベントカード	①避難所カード ②イベントカード ③ペットカード ④車カード
避難者カード	配慮が必要な事柄を記載	配慮が必要な事柄と、支援者となり得る情報を記載
避難者の名称	防災に関係ある名称	厚真町にゆかりのある名称（特産品、旧地名など）
カード裏面	静岡県と鯰のイラスト	あつまるくんを利用したイラスト
カードの記載方法	文字が中心	文字に加えてイラスト、記号を使用

5 厚真町版HUGの体験